

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年02月09日

計画の名称	ツインシティ大神地区の良好な市街地を形成するための都市基盤整備												
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)							重点配分対象の該当					
交付対象	平塚市												
計画の目標	区画道路、公園等の公共施設の整備を行い生活環境に配慮した安全・安心な市街地の形成を図る。 ・ツインシティ大神地区に「新たな核」となる産業系を主体とした土地利用を図りながら、生活環境に配慮した安全・安心の良好な市街地の形成を図る。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	5,900	A	5,900	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H26当初)	(H28末)	(H30末)
1	ツインシティ大神地区内における生活環境の向上。 駅周辺における拠点機能の向上 区画道路等整備率 (%) = 区画道路 (W=12m以下) 及び歩行者専用道路の総延長に対する、整備済区間の延長 = 区画道路 (W=12m以下) 及び歩行者専用道路の整備済区間の延長 (m) ÷ 同総延長 (m) × 100	0%	%	60%
2	ツインシティ大神地区内における利便性の高い市街地の形成を推進。 駅周辺における拠点機能の向上 宅地の整備率 (%) = 全体宅地面積に対する、整備済みの面積 (整備済み面積 (㎡) ÷ 全体宅地面積 (㎡) × 100)	0%	%	72%
3	ツインシティ大神地区内における生活環境の向上。 駅周辺における拠点機能の向上 下水道の整備率 (%) = 全体施工面積に対する、整備済みの面積 (整備済み面積 (㎡) ÷ 全体施工面積 (㎡) × 100)	0%	%	64%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H26	H27	H28	H29	H30					
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	平塚市	間接	平塚市ツインシティ大神地区土地区画整理組合	—	—	平塚都市計画事業ツインシティ大神地区土地区画整理事業	都市再生区画整理A=68.81ha	平塚市	■	■	■	■	■	2,950		—		
												小計						2,950			
下水道事業	A07-002	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	—	新設	平塚市公共下水道事業	管渠新設 A=68.4ha	平塚市			■	■	■	2,950		—		
												小計						2,950			
											合計						5,900				

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>平塚市において評価を実施。 事業施工者である平塚市ツインシティ大神地区土地区画整理組合に評価指標の実現状況及び今後の方針等について意見を求め、事後評価を実施。</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和2年度</p>	
	<p>公表の方法</p> <p>平塚市ホームページ</p>	

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>1. 区画整理の事業進捗に合わせ、先行整備する宅地に接する区画道路等の使用が開始されている。 2. 造成工事を先行的に進めたことにより平成29年度には1社、平成30年度には1社が建築着工し、まちづくりの効果が目に見えて確認出来ている。 3. 区画整理区域内において使用収益の開始が行われている箇所もあり、一部では汚水の排水が開始されている。</p>	
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<p>特段の記載事項無し。</p>	

○特記事項（今後の方針等）

<p>1. 造成工事の完了は予定通り進むことが想定されるため、速やかに整備を進めていく。 2. 宅地整備は概ね順調に進んでいるため、他の工事と連携し、遅滞なく進める。 3. 今後も区画整理組合が進める区画道路等の進捗に合わせて工事を進めざるを得ないため、組合及び庁内の連携を密にし、可能な限り速やかに整備を進めていく。</p>

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	60%
	最終実績値	25%
ツインシティ大神地区内における生活環境の向上		
当初予定より、事業認可が1年遅れたこと及び従前土地利用が田畑であり造成工事（プレロード）に想定以上の時間を要し、予定通りに区画道路等の工事に着手できなかったため。		
2	最終目標値	72%
	最終実績値	80%
ツインシティ大神地区内における利便性の高い市街地の形成を推進		
従前利用が田畑のため、施工の障害となるものがなく、現場進捗が図れたため。		
3	最終目標値	64%
	最終実績値	18%
ツインシティ大神地区内における生活環境の向上		
下水道整備は、区画整理組合が進める区画道路等の進捗に合わせて工事を進めていくものであるため。		